

議会報編集委員会 記録

1 日 時 令和2年9月4日(金)

開会 午前10時50分

閉会 午前11時30分

2 場 所 議会会議室

3 出席議員 10人

委 員 長	泉	英	之
副 委 員 長	尾 上	一	彦
委 員	久 保	大	憲
委 員	松 井	邦	人
委 員	金 谷	幸	則
委 員	岡 部		享
委 員	上 野		蚩
委 員	押 田	大	祐
委 員	小 西	直	樹
委 員	松 井	桂	将

4 欠席議員 0人

5 職務のため出席した職員

【議会事務局】

議事調査課長	野	嶽	誠	司
議事調査課長代理	中	山		崇
議事調査課調査係長	本	田	宏	之
議事調査課主任	牧	石	真	理
議事調査課主任	河	原	絢	加
議事調査課主任	田	伏	由	佳
議事調査課主事	木	戸	雅	人

6 協議結果について

- 1 とやま市議会だより（No.66）のレイアウトについて
配布資料の案を基本にして、作成していくことを決めた。
- 2 とやま市議会だよりの点訳版・音訳版について
次回の議会報編集委員会で再度協議することとなった。

7 会議の概要

委員長 それでは、ただいまから議会報編集委員会を開会いたします。

 協議に先立ち、委員会記録の署名委員に久保委員、松井 邦人委員を指名いたします。

 本日の協議事項はお手元に配付のとおりであります。

 まず、協議事項の1番目「とやま市議会だより（No.66）について」であります。

 それでは、お手元に配付のレイアウト案について、事務局から説明をお願いいたします。

議事調査課長 レイアウト案についての御説明でございます。

 まず、今回は全体で12ページとなっております。発行日は11月20日となっております。

 1ページ目はこれまでと同様のレイアウトとなっております。

 2ページ、3ページは令和2年9月定例会の概要を掲載いたします。2ページ上段には見出しとリード文、以降定例会の日程、補正規模の表、可決した主な議案、意見書や請願・陳情の審査結果などを掲載いたしたいと考えております。写真につきましては、今後検討したいと考えております。

4ページ、5ページについては、議会運営委員会、常任委員会についての掲載であります。まず、4ページについては、予算決算委員会全体会や分科会長報告などに関連の写真を掲載いたします。5ページは4常任委員会の委員長報告や関連写真などの掲載でございます。6ページからは一般質問についての掲載をいたします。今回質問されます議員は全体で18名でございます。それが9ページ中段まで一般質問という形での掲載となります。9ページの下段には「QRコードを読み込んでみよう」と題しまして、簡単に一般質問の録画中継の画面にアクセスできるアナウンスを掲載したいと考えております。

10ページは、上段には決算審査について、上段右側には市議会豆知識としまして、決算審査についての記事を考えております。内容については今後、ちょっと考えさせてください。下段左側には自転車安全利用促進特別委員会の開催状況、下段右側には次回12月定例会の日程（予定）の掲載を考えております。

11ページは、傍聴、議員の寄附行為の禁止についてや、請願・陳情の提出方法についての掲載をしたいと考えております。

12ページはカラーのページとなります。別紙でカラーのイメージをつけております。こ

のページについては、例年であれば行政視察の報告ということで、常任委員会の視察の内容や視察した様子の写真というものを掲載しておりましたが、今年度は行政視察を行わないことから、本会議を見てみようとして、インターネットでの本会議中継のアクセス方法やケーブルテレビでの中継放送の案内、会議録の閲覧方法についての掲載の記事といたしたいと思います。

また、下段のほうには、これらに関連して直近1年間のインターネットにおける本会議中継のアクセス状況の掲載も考えております。説明は以上でございます。

委員長 それでは、レイアウト案について何か御意見はございませんでしょうか。

押田委員 まず、一番最後、「本会議を見てみよう」というところですが、これはインターネットで見てみようということですよ。傍聴ではないのだったら、インターネットでという言葉を入れてはどうかと思います。

議事調査課長 インターネットもございませし、ケーブルテレビでもやっております。放送自体を見るところもございませすが、会議録というもの

もございますので、いろいろな意味でも本会議の状況を見ていただきたいということで、「本会議を見てみよう」というような表題といたしております。

押田委員 前のページに傍聴があるので、こちらはネット及びケーブルテレビというのを強調したほうが分かりやすいのかなということです。

議事調査課長 少し工夫したいと思います。

久保委員 最後のページで、インターネットでの本会議の中継及び録画中継とか会議録の閲覧とあるのですけれども、QRコードを使ったことがない人とか、ホームページのアドレスだけ書いてあっても、これを打って見に行こうとは思わないので、例えば富山市議会のホームページから誘導するような文言か、もしくは検索で一発で出てくるのだったら、例えば「富山市議会会議録で検索」のように記載していただきたいと思います。アドレスとQRコードだけでは不親切かなと思うので、工夫をお願いします。

議事調査課長 ちょっと分かりにくかったかもしれませんが、例えばインターネットでの本会議の生中継及

び録画中継のことについては、文章の下のほうに市議会ホームページの項目の4というところの本会議中継からもアクセスできるというような文言も少し掲載をしております。会議録の検索のほうについても、同様にホームページからも入れますというような文言を記載しておりますが、もうちょっと分かりやすいように掲載をさせていただくということでもよろしいでしょうか。

久保委員 はい。

委員長 ほかにはございませんか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようですので、1つ私からちょっと提案です。表紙の色について、1年間に4回、オレンジだとかブルーだとかを決めておりますけれども、もうほとんど変わっていない状態なのですが、審議が毎回必要でしょうか。逆に言えば、今までどおり4月は何色というのが決まっているのだったら、そのまま今後審議しなくていいのではないかという提案が1つあるのですが、いかがでしょうか。

〔「いいと思います」と呼ぶ者あり〕

委員長

色についてだけなので、写真とかはまた別なのですが、春夏秋冬に合わせた4色がずっと固定されているので、もうそれについては省略してもよろしいかなと思ったのですが、意見がございましたらお願いします。

（「委員長、副委員長で」「いいと思います」と発言する者あり）

委員長

では、委員長、副委員長で決めたいと思います。もう1回会議がありますので、そのときまでには決めたいと思います。

それでは、今のお話の中身を復唱しますが、最終ページのことについては表現、見出しについて「本会議を見てみよう」というところをもうちょっと分かりやすくするところ、それとインターネットへのアクセス方法についての説明をちょっと分かりやすく表現できればいいなという御意見が出ましたので、事務局のほうでまた検討をよろしくお願いいたします。

それでは、そのほか異議がないようですので、このように決定いたします。

もう1点、私のほうからお願いがあります。

表紙の写真についてなのですが、前回もいろいろと議会事務局のほうから提案いただき、最終的に、ファミリーパークに新しい仲間が増えたという題材の表紙になりました。その際、私のほうから事務局へ、富山市民病院の発熱外来の写真を撮れないかというお願いをしておりましたが、肖像権の問題だとか、受診された人が背中であろうと写されるといういろいろな弊害がありました。しかし、写真については、いろいろな数多くの写真の中でこれがいいというのを選びたいなと思っているので、もうちょっと議員の皆さんから御提案いただきたいと思います。

表紙の写真について御意見がある方がいらっしゃいましたら、よろしく願いいたします。

押田委員

毎回毎回表紙については、議会事務局の方々が大変御苦労されているというふうに認識をしております。基本的に議会事務局はほぼ内勤に近いということで、外で写真を撮るということとか、外に移動するというのも難しいこと、不可能なこともあるのではというふうに思っておりますが、私たち議員は、議案から成立したものや、いろいろなものを議員として見ていると思うのです。

私の地元であった話でまた申し訳ないので

けれども、この前、水橋漁民合同組合というところが子どもたちの定置網の教育のために10分の1程度の小さいミニチュアの網を作ったのですが、その写真をフェイスブックに載せたところ、こういうことをやっていたのか、議会で決まったことはこういうことなのかということで、実は意外な反響を得ました。

そういった意味では、議員もそうですし、市民からも議案に関することで写真提供を受けてみてはいかがかなというふうに考えております。議員ですとまだ声もかけやすいですが、市民になってくると無差別に送られてくるので、これは考えが必要かもしれません。あともう一つ、市役所の中には広報課がございますし、広報課のほうも「広報とやま」の写真、表紙を決めるために多分何十枚も撮っていると思うのです。そこから何か議案に関することはないかということで、撮ってこないかという依頼も多分できるかなというふうに思っているので、広報課との連携も考えてはいかがかなというふうに思っております。

ただし、そういったことになってくるとどうしても人の顔が写ったり、キャラクターによってはものすごい著作権料が出てくるものな

どもありますけれども、そこら辺に留意しながらやっていったいいのではないかと思います。

また、議案に関するだけでなく、富山市で行われた盛大なものであったり、季節柄のものであったり、珍しいものであったり、幅広く考えてもいいのかなという考えを持っています。

委員長

今押田委員から2つほど提案があったと思います。まず議員が各地でいろいろな行事に参加していますので、著作権だとか肖像権だとかという問題がやっぱり大きいと思いますが、了承が得られればそういったものも議会報の中の題材の1つとして挙げていただいて結構だと思うのですけれども、皆さん、これに関していかがでしょうか。

政治色の強いものに関しては、採用できませんが、議会としてもいろいろなことをやっている、あるいは条例でこんなことが定まっている、そういう予算を利用して地域の住民がこれだけ活発な動きをしているというような姿があれば、ぜひとも議員からそういう写真の提案があってもいいのではないかと考えているのですが、いかがでございましょうか。

〔発言する者なし〕

委員長

よろしいですか。反対がないようであれば、今月号ですぐということにはなり得ないと思いますが、12月号に関してそういったものがあれば、できれば提出していただきたいと思います。

それと、もう1点目の市の広報課に写真提供を受けるということは議会事務局として可能でしょうか。

議事調査課長

従前から、やはり私どもが写真を撮りに行くということが多いのですが、広報課からも実は提供は受けております。当然のことながら、広報課だけではなく、例えば路面電車の南北接続の関係ですと活力都市創造部にもお願いしたりだとか、私たちが撮るタイミングで撮れるものもありますし、撮れないものもありますので、広報課を含めて全庁的に写真の提供は受けているところであります。

委員長

では、前例もありますことから、テーマ性があるってこの写真を出してくれといったときに、ない場合はやっぱり広報課に連携いただいて、いい写真を載せたいなと思いますので、ひとつよろしく願いいたします。

それでは、次に協議事項の2番目に移ります。

「富山市議会だよりの点訳版・音訳版について」であります。

昨年度の議会報編集委員会において提案がありました、とやま市議会だよりの点訳版・音訳版について調査いたしましたので、その結果について、事務局から説明をお願いいたします。

議事調査課長

今ほど委員長からもございましたとおり、昨年度の議会報編集委員会の中で、視覚障害者の方向けに市議会だよりの点訳や音訳を導入してはどうかということで、その判断をするために他都市の状況であるとか、費用面についての調査・研究を講じてはどうかということでしたので、その結果について御報告をしたいと思います。

お手元に配付の議会だよりの点訳・音訳にかかる費用等についてという1枚ものの横版の資料、それとその下に別紙が1から3までございます。主に、この横版のほうを御覧いただいて、御説明をしたいと思います。

まず、点訳についてでございます。いわゆる点字と言われるものでございまして、中核市では31市が導入しております。発行予定数については、広報課と同様の70部、広報課

も70部で発行しているということで、70部で見積りを取っております。見積額は年額85万8,000円余りでございます。

続きまして、音訳についてでございます。

音訳については中核市のほうに照会しました結果、大体4種類の方法で導入をしております。

まず、CDの音訳でございまして、中核市では39市が導入しており、発行予定は広報課の市広報と同数の51枚での見積りを取っております。見積り先については、市広報の音訳を作成されている実績のあるボランティア団体で、見積額は37万5,000円余りとなっております。

市広報においてはカセットテープでの発行も行っておりますが、カセットテープについては見積りの段階でお聞きしましたところ、編集に係る器材についてはもう生産をしていなくて、部品ももうないということで、壊れるともうこれでおしまいだということを知っておりますものですから、CDのみの見積りということにさせていただいております。

なお、CD音訳の課題について聞いたところ、この業界は、ボランティア団体も含めて、なかなかマンパワーが少し足りないような状況だということでした。実は見積りをいたしま

したその業者の方はボランティア団体で、市広報等も請け負っており、なかなか議会だよりまですぐにはできないということで、市広報と同じタイミングでは出せないということを知っております。

続きまして、音訳データについてでございます。

中核市については6市が導入しております。この手法については、人が朗読したデータを市議会ホームページに音声データとして掲載するというものでございます。具体的には、下についております別紙1を御覧いただきたいと思っております。

これは水戸市議会の例でございますが、こういう形で出てきたものについて、例えば「可決した議案や質問について」という部分をクリックいたしますと、そのままクリックした部分が音声として流れてくるといったものでございます。

最初の資料に戻っていただきたいのですが、これも先ほどと同じように、人が音訳したものについてホームページに掲載するというので、これもマンパワーがなかなか足りないということで、議会報と同じタイミングで出すことは難しいだろうということを知っております。

逆に、メリットとしましては、ホームページに掲載するということですので、点訳やCDの利用者以外の、音声で聞きたいという方を含めてどなたでも御利用できるという点がメリットであると考えております。

続きまして、音声コードについてでございます。

中核市については1市が導入しており、具体的には資料の別紙2を御覧いただきたいと思っております。

これは、富山県議会の特集号で、毎回こういう形についているわけではございませんが、右下の音声コードと言われるこの部分をスマホでかざしていただくと、情報を音声で聞くことができるというものでございます。ちょっと分かりづらいかもしれませんが、音声コードの右側に黒の半円がございます。これは印刷業者のほうで切り欠きという作業をすることでこの半円を作るのですが、この半円が1個の場合はこのページのみ、2個ついている場合はその裏側のページにも音声コードがついていますよということで、障害者の方にも分かるような加工がされています。

最初の横版の資料に戻っていただきたいのですが、これについては多少費用がかかりまして、見積りを取りますと大体320万

円ほどかかるというふうな状況でございます。
それと、1コードで800字から1,000文字しか入らないということで、情報量が非常に少ないということでございます。

最後に、テキストデータでございます。

中核市については8市が導入しており、これはホームページに掲載されたテキストデータをパソコンやスマートフォンの読み上げソフトを使用して音声化するというものでございます。

具体には、別紙3を御覧いただきたいと思っております。

これは横浜市の例でございますが、このテキストファイルのところをクリックいただくと、別紙3の2ページ目のとおり、このような文字でデータが出てきます。この文字について、読み上げソフトのほうを使っていただくと音声化されるというものでございます。

最初の資料にまた戻っていただきたいのですが、けれども、これは費用は比較的安く、2万9,000円ほどだということでございます。

これは、課題としましては、音声ソフトを使うということで、人が読み上げるものと違って、機械的な読みをしておりまして、固有名詞などですと多少読み違いがあるということではございます。

メリットとしましては、これもどなたでも利用ができ、文字数も制限がないということ、それと比較的安価で済むということがメリットであろうと考えております。

調査した結果については以上でございます。

委員長 私どもは事前説明を受けたのですが、現在、富山市において点字を要求される方がどれくらいいらっしゃるのか、再度教えてください。

議事調査課長 市内には視覚障害の方が900人ほどいらっしゃるというふうに聞いており、うち、点字を判別できる方というのは大体90人ということを知っています。
ただし、広報のほうでも、90人であっても広報とやまの点訳版は年間70部の作成ということなんです。

委員長 全体が900人、点字が読める方が90人程度ですね。

議事調査課長 はい。

委員長 分かりました。
では、そのことを踏まえた上で、今回提案がありましたので、今後こういったものを採用

するか、早速というわけにはいかないとは思いますが、テスト形式でもやってみたいという御意見もあると思います。

それで補足しますが、一番最後の2万8,600円のテキストデータについてですが、読み上げボタンというものがワードやエクセルの中に必ずついているらしいので、それをやってみました。確かに発音的には機械なまりというのがありますが、非常に楽に聞けたので、自分の一般質問の要旨を寝ながら聞くみたいな、そういったこともできるので、こういったことを市民の皆さんに供するのも1つかなと思いましたが、これは私の個人的な意見でございますので、皆さんの御意見をちょっとお伺いしたいと思います。

久保委員

県の差別解消条例もありますので、合理的配慮という意味で言うと、点訳とCDまでは市広報でやっていますので、ここまではやるべきだろうというふうに思っています。

ただ、点字のほうは専用の機械がないとなかなかできないので、点訳版の委託先は随意契約のような形になってもいいのかなと思いますが、CDの読み上げのほうは、このボランティア団体単独でいいのかどうなのか。しかも、マンパワーが足りないという理由がボラ

ンティア団体への委託費用に寄与するものだとしたら、もう少し広く民間参入なども促しながら、費用の妥当性も議会としてはしっかりと持って発注したらいいのではないかなと思っています。

契約は別にしても、点訳及びCDまではワンセットですべきだと思います。

委員長 久保委員から点訳、CDはやるべきだという御意見が出ました。ほかに御意見はございませんでしょうか。

小西委員 私も同意見で、点訳とCDはやるべきだと思います。できるだけやっぱり今まで分からなかった人たちにも市政を、市議会を身近なものに感じてもらうという意味からしてもそういうふうに思います。

委員長 その他、ございますか。

押田委員 点訳に関しては皆さんと一緒にのですが、CDに関しては、この声のライブラリー友の会というのは、多分今後厳しいかなというふうに正直に感じます。
なぜかと言うと、実は声を使った商売をする人がこの十年間、正式には二十年間ぐらいで

非常に減っております。昔ですと、アナウンサーになりたいとかキャスターになりたいという女の子もたくさんいたのですけれども、いつの間にか昔は憧れだった職業から、そんなものにはなりたくないという方たちが増えて、ボイストレーニングの事務所とかも非常にきゅうきゅうしているわけですよ。そうなってくると、厳しくなってくることを予想しています。

ということから、CDはこの際多分できないという先を見越して、今委員長が言われたテキストデータまで一気に持っていったほうがいいかなというふうに思います。

私はユーチューブなどを見ていますと、確かに流暢にしゃべられているところもあるのですが、最近では機械読み上げ的なもので事象を伝えているということもありますので、もしかするとそこまで持って行っていいのではないかという考えを持っています。

委員長

そのほか、ございませんか。

ちょっと私のほうで気になるのが、発行日が紙面より遅くなるというところは、結局はそれが依頼できないということですか。

議事調査課長

なかなか市の広報より議会報のほうが説明言

葉として難しいということを知っています。
それと、先ほど申したとおり、マンパワーが
少し足りないということもあって、幾つも掛
け持ちの仕事が多分できないでしょうとい
うことも聞いているので、発行日が紙面より
も少し遅くなるということでもあります。

委員長 ちなみに、これは何万字くらいと決まっ
ているのでしょうか。
CDに焼くとなると、分かりませんが、我々
は一般質問のときに6,000字で20分く
らいという大体めどは持っています。

議事調査課長 3月定例会の16ページのもの
については、3万3,000字です。
そのほかの定例会については2万6,000
字くらいということです。

委員長 通常のものでいくと、読み上げに1
時間以上かかりそうです。2時間では済ま
ないでしょうか。

(「済まない」と発言する者あり)

委員長 なるほど。いずれにしろ、この関
係につきましても、補正予算など予算が伴
うもので、ぜ

ひとも今の委員会のメンバーがいるうちには方向性は定めたいとは思っています。それを踏まえた上で再度意見を頂けませんでしょうか。

押田委員 もう一度お願いします。

委員長 皆さんのお気持ちとすればやっぱり点訳版や音訳版はしたほうがいいだろうというのは共通した認識だと思います。その中で点字に関しては90名に対して費用対効果があるのか、CDに関しては、3万何千字というものをCDで配布するというやり方にしても、ページ数だけ限ってそこだけ発表するというやり方にしても、行ったほうがいいのかと思われるのかどうか、意見はありますでしょうか。
久保委員、それに関していかがでしょうか。

久保委員 傍聴、請願、陳情とか、起こさなくていいようなものもあるので、その3万何千字フルではないと思います。
今、コロナの中で、司会業をやっているところなどは仕事がなかつたりしますから、例えば試験的にやるにしても、このライブラリー友の会がもしもそこだけでは難しいということであれば、少し幅を広げて声をかけてみて、

試験的にやってみたらいいのではないかなというふうに思います。実際にその利用頻度や、利用された方の声なども聞いて、今後どういうふうに継続していくのかというのを考えていけばいいかなと思います。予算措置ができるのであれば、試験的にこの任期の間に一度でも発行できたらいいいのではないかなというふうに思います。

押田委員

正直、マンパワーが足りないという時点で、私はCDは無理だと思うのです。自分が昔、実はこういう声を使う商売をしていたもので、考えてみると、仮に3時間を録音するとなったら、事前に調べて、読み込みをしてナレーションを取ってとなると、ナレーションも3時間の一発撮りなんて絶対に無理だし、一人でやっても複数人でやっても大体声がなくなりますよね。それに編集する人をつけていったら、多分ボランティアだとかつかつたと思います。

今言われたとおり、確かにそういう方がいらっしやればいいのですが、現実にと考えると、もうほとんど難しいと思います。

だから、今言われたように、声はかけてみるけど、だめであればやっぱり機械的かもしれないけどテキストデータも頭に入れておいた

ほうがよいかと思います。

実際、参考ですけれども、私が受けてほしいと言われても3万字と言われてたら、もうほとんどその場で断りそうです。

委員長

昔ラジオ放送でプロだった方がそう言われるとそうなのかなとは思いますが、そうしたらどうでしょうか。

今日、議題に上げましたが、今回は一回持ち帰るという方向で考えたほうがいいのではないですか。

それで、一応テキストデータのほうも皆さん、一度やってみてください。意外と簡単でした。予算的には2万8,600円というものなので、これは多分印刷会社よりそれを提供いただければいいだけなので、本来なら予算付けしないと駄目な案件ではございますが、ちょっと協力いただけないかというお願いもできるかとは思います。

そうしたら今回、ここでは決定できないと思いますので、一度持ち帰って、再度次回の委員会のときに協議したいと思いますので、それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

久保委員 今押田委員が言われたのは、あくまで価格とのバランスもあると思うので、事務局には司会業など、こういった作業ができるようなところに見積りを取っていただいて、もしかしたら民間であればもっと100万円とか、もっと大きな金額になるかもしれないので、その場合は当然費用対効果を含めて、皆さんと検討しないといけないと思います。事務局には改めて民間のところにも見積りをお願いします。

議事調査課長 すみません。民間のほうでの見積りということが今久保委員から言われましたが、実はそのCDのほうの見積りを北日本放送さんからいただいておりまして、消費税込みで129万6,000円となっております。

委員長 了解しました。これも含めて、予備知識としていただきたいと思います。

押田委員 ちなみにCD録音を、もしボランティアに受けてもらったら、議会事務局さんが3時間聞いてチェックするのですか。

議事調査課長 一応確認はする予定です。

押田委員 分かりました。

委員長 では、そういうことで、今の御意見を頂いた上で、もう一回協議いたしたいと思しますので、皆さんのほうでも認識いただいて、費用対効果及びその発行に時間がかかり過ぎるといふ、時間軸の問題もございますので、その辺も考慮いただきたいと思います。

それでは、ただいまの協議結果につきましては、私から議長に報告することといたします。最後にこの際、何か御意見がございましたらお伺いしますが、何かございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 特にないようでしたら、これで本日の協議は全て終了いたしました。

次回の議会報編集委員会は、10月9日金曜日午前10時からの開催を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、これをもって議会報編集委員会を閉会いたします。

議会報編集委員会 記録署名

令和2年9月4日

委員長 泉 英之

署名委員 久保大憲

署名委員 松井邦人